

# 下水汚泥圧送管の更生工法の開発を目指して パイロットプラントでのデモ施工をします

横浜市では、民間企業や公的な研究機関等が保有する先端技術や情報等と横浜市の保有する技術知識や施設等を組み合わせ、産・学・官が連携した新規性に富んだ研究、技術開発等を積極的に推進するため、共同研究を行っています。

このたび、「<sup>げすいおていあっそうかん</sup>下水汚泥圧送管 更生工法の開発」について共同研究協定を締結した3社と連携し、更生工法の確立に向けた基盤技術となる補修工法の開発を当面の目標として、パイロットプラントにおけるデモ施工を実施します。

## 1 共同研究概要

研究テーマ：下水汚泥圧送管更生工法の開発

協定締結時期：令和7年7月

研究目的：効率的な予防保全のために下水汚泥圧送管に施工可能な更生工法の確立

協定締結先：(1) 有限会社横島

GCN スルーリング協会

(2) 株式会社湘南合成樹脂製作所

RTI JAPAN パイプソリューションズ株式会社

(3) 管清工業株式会社 神奈川営業所・東亜グラウト工業株式会社

芦森工業株式会社・芦森エンジニアリング株式会社

## 2 デモ施工概要

### ■ 実施内容

下水汚泥圧送管への適用性を検討するため、各工法の施工性および性能を確認します。

### ■ デモ施工実施予定

4月16日(木) ホースライニング工法 @神奈川県厚木市内

4月17日(金) パルテムHL工法 @神奈川県厚木市内

4月21日(火) チューブテックスR工法 @神奈川県横浜市内

5月12日(火) GCNスルーリング工法 @茨城県常総市内

5月19日(火) KDX工法 @神奈川県厚木市内

5月27日(水) シームレスライナーH工法 @神奈川県厚木市内

裏面あり



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

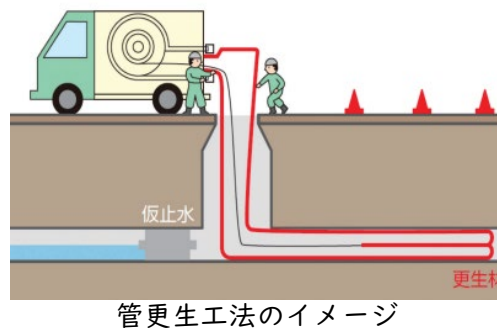
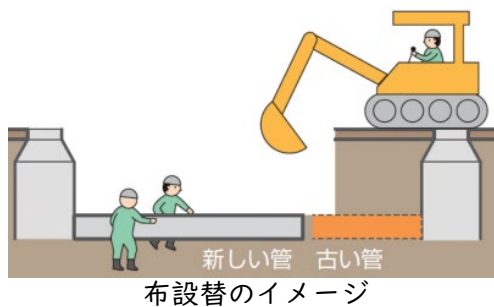
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



### 3 共同研究内容

下水道管の再整備手法には、道路を掘削して管を入れ替える「布設替」と、道路を掘削せずに既設管の中に新たに管を作る「管更生」があります。管更生は布設替に比べ、短期間で施工でき、作業エリアが少なく済むため、交通規制範囲を小さくできるというメリットがあり、再整備のスピードアップとコスト縮減に有効です。

下水汚泥圧送管については構造上、布設替による更新を行っていますが、専用幹線の再整備など抜本的な対策と並行して、老朽化した送泥管の長寿命化を図ることが課題となっています。本研究では、効率的な予防保全が行えるよう適用可能な更生工法の開発を目指し、まずは補修工法の開発に取り組みます。



(参考) 横浜市の下水汚泥圧送管

横浜市では、市内 11 か所の水再生センターで下水を処理する過程で発生する下水汚泥を 2 か所の汚泥資源化センターで集約処理をしています。

下水汚泥は水再生センターから汚泥資源化センターまで管路圧送により輸送しており、設置については大きな幹線下水道の内部空間を利用して管路を敷設しています。また、下水道幹線がないルートでは公道下に直埋設されています。



### 4 取材に関するお問合せ先

デモ施工に関する取材をご希望される方は以下連絡先までご連絡ください。

下水道河川局 マネジメント推進課技術開発担当

TEL : 045-671-3967

Mail : gk-gijutukaihatu@city.yokohama.lg.jp

お問合せ先		
マネジメント推進課担当課長	清水	Tel 045-671-2940



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

